



1. 独立就農の動機

生まれも育ちも埼玉県。東京で社会人4年目を迎えた頃、東日本大震災が起こり、その直後からボランティアとして、山元町で活動。東京の仕事は代わりになる人がいるが、ここには自分しか出来ないことがある。ここに住まないと山元の良さを発信できない……

何をするか→農地が空いている話あり→農業に興味あり→山元で農業をする⇒農業で成功して新規就農者と移住者を増やす！

このように考えて、山元町への移住そして独立就農を決めた。

2. 就農の準備

平成25年8月、山元町に引っ越しをして、9月から7ヶ月間、蔵王の農業法人で研修をした後、平成26年4月に山元町で独立就農した。

ボランティアをしていた関係で農地を借りる苦労はなかったが、被災農地のため、地力は限りなくゼロに近く、土作りに苦労した。

就農時の資金は、国からの助成金（経営開始型）や貯金で賄っている。初代トラクターは、2万円の中古品で、直せるものは自分で直して使おうと農業機械を勉強し、現在は、まだ無借金。ちなみに2代目トラクターは、8万円で手に入れて、現在、活躍中！



初代「すずえちゃん」

3. 現在の状況

1haあまりの田畑で、マコモダケ、ニンニク、かぼちゃ、さつまいもなどを栽培。普通の品種ではなく、ちょっと変わったものや珍しいものを選んでいる。

費用対効果を考え、有機栽培と慣行栽培に分けている。この有機肥料は、競走馬のトレーニングセンター「山元トレセン」からの馬糞を使用。

販売は、地元亘理のスーパーや産直市に加え、仙台へも週2回通っている他、個人宅配での販売も行っている。

マコモダケの栽培に力を入れていて、産直市「山元はじまるしえ」で、町の名物としてPRするために、ふくらはぎに似たマコモダケにちなんだ「山元町美脚コンテスト」を計画、開催した。

美脚？
マコモダケ



農業をする覚悟があったら
もっとよかったかな…と

4. 失敗がないことはない！

研修先は、人力で雑草の管理を行っており、独立後は、機械を使わずに出来ると思っていた。やり始めたら、10aの畑でさえ途方にくれて、1~2年目は散々だった。また、雑草を生やし放題にしたらどうなるかを試して、まわりに迷惑をかけて叱られたり…でも、雑草魂に共感し“失敗は農業を知るチャンス”とも思った。それから、キャベツを虫に食われたり、植え付け時期が寒すぎて、人参を全滅させたり…と失敗は数々。

「自らが住むことで、人を山元に呼ぶ！」と移住することが先決だったため、自作の他、まわりの農家さんに教えてもらったり、他の農家さんの手伝いをしながら、経験を積んでいるところ。試行錯誤ではあるが「今は実力をつける時期」と考え、日々取り組んでいる。

5. 就農して思うこと

~やりたいことをやったほうがいい~

農業には、頭で考える以外の良いこともたくさんあります。助け合いの精神が根付いているこの山元町で農業を始めて、一次産業のやりがいと責任を感じる毎日です。

挑戦できる環境に身をおける幸せを実感！